

(様式1)

## 2019年度 スマート農業加速化実証プロジェクト実施計画 (案)

## 1. 事業の概要

(1) スマート実証農場の名称

〇〇スマート実証農場

(2) 実証するスマート農業技術体系の概要 (200文字以内厳守)

(注1) 対象とする品目や導入する技術とそれにより確立しようとする技術体系について記載してください。

(注2) 超低コスト輸出用米に取り組む場合はその旨を記載してください。

(3) スマート実証農場の母体となる経営体の概要

母体となる経営体	株式会社〇〇農産
経営体の代表	代表取締役 農林 太郎
所在地	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇号
経営概要	
① 経営面積及び品目	〇〇ha (うち、水稲〇〇ha、大豆〇〇ha、キャベツ〇〇ha)
② 主な雇用体制	社員〇名、パート・アルバイト〇名
③ 直近の売上げ	〇〇万円 (20XX年〇月～20XX年〇月)

(4) スマート実証農場の概要

実証を行う面積	〇〇ha
実証を行う品目	水稲〇〇ha

(注1) 実証を行う現場がわかるよう、圃場の図面等を添付してください。

(注2) 全ての経営面積を実証に当てない場合、スマート実証農場の経営分析が行えるよう、当該分の売り上げやコストについて把握してください。

#### (4) スマート実証農場の体制

##### ① 研究リーダー

(フリガナ) 氏名		役職	
所属機関・部署名			

##### ② 進行管理役

(フリガナ) 氏名		役職	
所属機関・部署名			

(注1) 研究リーダーは、実施計画の提案責任者です。申請や予算執行上の事務の窓口となります。

(注2) 進行管理役は、本実証プロジェクトの進行管理を担うとともに、今後の地域のスマート農業の伝道師的な役割を担うことが期待される者です。本実証プロジェクトへのエフォート率が低くなるような者は避けてください。

(注3) 研究代表者と進行管理役は兼務できます。

##### ③ スマート実証農場の構成機関

	機関名（支所等名まで記載）	主な役割
代表 研究 機関		
共 同 研 究 機 関		
農 場 経 営 体		
研 究 管 理 運 営		

機関 (注2)		
------------	--	--

(必要に応じて行を追加・削除)

(注1) 代表研究機関及び共同研究機関の役割分担を簡潔に記載してください。

(注2) 研究コンソーシアム内に、研究代表機関以外の他の研究機関へ資金を配分するための経理事務体制等が十分に整っている研究機関等が存在しない場合、研究代表機関に代わって、経理執行業務を担う機関(研究管理運営機関)をコンソーシアム内に設けて、そこが資金配分等に係る事務を行うことができます。また、そうした研究管理運営機関の経理執行業務に必要な経費についても委託費の対象となります。

## 2. 実証プロジェクトの概要

### (1) 実証プロジェクトを実施する背景及び課題

### (2) 実証プロジェクトで実証する技術体系と考え方

(注) 課題を解決するための考え方や技術の導入方針を具体的に記載してください。

### (3) 実証プロジェクトの達成目標

#### ①成果目標

(注) 「成果目標」は、(i) 生産コストの低減又は(ii) 収量及び品質の向上の少なくとも1つについて、現状を踏まえた2年間の実証プロジェクト終了後の定量的な目標を記載してください。

#### ②目標値設定の考え方

(注) 「目標値設定の考え方」は、①で掲げた成果目標の根拠について、計算方法等を含め具体的に記載してください。

### 3. 実証するスマート農業技術体系

#### (1) 実証するスマート農業技術体系の概要

品目：水稲 実証面積：〇〇ヘクタール

生育ステージ	機械・技術名 (型式等)	技術または機械を提供 する企業・研究機関	台数	技術概要	期待される効果	導入コスト (想定)	既存・新規の 別
耕起・整地	自動運転トラクター (A-123)	(株) 〇〇農機	1	高度なGPSと自動運転技術により、リモコンによる遠隔指示で、無人での自動耕耘・代かきが可能。	無人機と有人機を2台同時に使用し、作業時間を4割削減	9,700,000	新規
移植							
水管理							
雑草防除							
農薬散布							
収穫							

(注1) 生育ステージごとに、どのようなスマート農業技術体系を確立するのかを記載してください。

(注2) 機械名・技術名は、複数ある場合は全て記載し、型式等がある場合は記載してください。

(注3) 「期待される効果」については、現在地域が抱えている課題がどのように改善されるのかを具体的に記載してください。

(注4) 「導入コスト(想定)」は、導入する機械・技術が既に販売されている場合は販売価格、今後販売される場合は想定価格を記載してください。

(注5) 「既存・新規の別」については、今回の実証プロジェクトにおいて、既存の機械を用いる場合は「既存」、新規に機械を整備する場合は「新規」と記載してください。

(注6) 超低コスト輸出用米の実証に取り組む場合には、以下の書類を添付してください。

- ① 輸出事業者と2020年まで契約することがわかる書類(契約書、覚書等)
- ② 1俵(60kg)当たり7,000円台で販売しても主食用米並の所得が得られる水準の収支計画

## (2) 経営・栽培管理システムの概要

(注) 経営や栽培等のデータを管理するソフトウェア（経営・栽培管理システム）を利用する場合は、その概要を記載してください。

## (3) 実証する技術体系の先進性・優位性

(注) 実証する技術体系の先進性・優位性について、従来の技術体系と比較するなどしてわかりやすく記載してください。

## (4) 実証する技術体系の普及可能性

(注) 導入・活用が見込まれる品目や地域、将来の機械の販売台数見込みを示すことなどにより、研究成果がどの程度幅広い地域に波及するかを具体的に記載してください。

## (5) 実証プロジェクト実施後の普及についての考え方

(注) 実証した技術体系について、地域において誰がどのように普及するのか、技術体系を広げていく人材をどのように育成していくか等について具体的に記載してください。

#### 4. 研究計画

##### (1) 実証プロジェクトのスケジュール

###### 2019年度

研究項目	実施機関	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 研究推進会議		↔		↔				↔			↔		
2. 自動運転トラクターの技術体系の確立													
(1) 自動運転トラクターの実証	〇〇農産	↔											
(2) 試作機の改良	(株) 〇〇農機			↔									
3. . . . .													
(1) . . . . .													
(2) . . . . .													
(3) . . . . .													
4. . . . .													
(1) . . . . .													
(2) . . . . .													
(3) . . . . .													

###### 2020年度

研究項目	実施機関	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 研究推進会議		↔		↔				↔			↔		
2. 自動運転田植機の技術体系の確立													
(1) 自動運転田植機の実証	〇〇農産	↔											
(2) 試作機の改良	(株) △△			↔									
3. . . . .													
(1) . . . . .													
(2) . . . . .													
(3) . . . . .													
4. . . . .													
(1) . . . . .													
(2) . . . . .													
(3) . . . . .													

(2) データの収集方法

調査項目	調査手法
栽培データ	
作業時間	
環境データ	
投入資材量	
経費	

(注) 技術体系の効果が分析できるよう、調査項目を設定してください。なお、採択後に農研機構と調整することがあり得ます。

5. 各研究機関等の研究費総額の詳細見込額

(1) 機関・年度別経費の内訳

(単位：千円)

機関	2019年度	2020年度	合計	備考
(代表研究機関) 〇〇研究所				
(共同研究機関) 〇〇農業機械(株)				
(共同研究機関) (株) 〇〇システム				
(農場経営体) (株) 〇〇農産				
合計				

(2) 経費の区分・年度別研究費の内訳

(単位：千円)

経費の区分	2019 年度	2020 年度	合 計	備 考
直接経費				
人件費				研究代表者 エフォート〇%
謝金				外部有識者謝金
旅費				東京～千葉（〇回）
備品費		—		
試験研究費				
消耗品費	(     )	(     )		部品など
借料及び損料	(     )	(     )		会場借料、バス借上げなど
賃金	(     )	(     )		実証補助
雑役務費	(     )	(     )		システム改良・保守など
その他	(     )	(     )		
消費税相当額				
一般管理費 (または間接的経費)				
合計				

(注1) 経費の内訳は、公募要領「委託経費の対象となる経費」に従って記載してください。

(注2) 各経費は、消費税（8%）込みで記載してください。

(注3) 研究計画の検討や評価を行うための会議を東京都内で開催しますので、研究代表者は年3回程度会議に出席していただきます。このため、必要に応じて、旅費等を算定してください。

(注4) 間接的経費は直接経費の15%以内を原則としつつ、研究代表者の申請に応じ、最大30%までの間接的経費の加算を認めます（その分の直接経費が減額されます。）。ただし、加算された間接的経費の

配分先は、研究者又は研究者が所属する研究室等に限定とします。

(注5) 消費税等相当額は、消費税課税事業者のみ消費税相当額を計上し、直接経費のうち非課税取引・不課税取引・免税取引に係る8%に相当する額を計上してください。具体的には、「人件費及び謝金」の8%に相当する額を計上してください(人件費のうち派遣業者からの派遣研究員に係る経費は課税対象経費のため対象外)。また、「人件費及び謝金」以外に非課税・不課税・免税取引を予定する場合は、把握できる範囲で計上してください。

なお、地方公共団体・免税事業者の非課税団体等については計上できません(研究費総額に「-」を記載する)。

(3) 機関・経費の区分・年度別経費の内訳

① 機関名 ○○研究所

(単位：千円)

経費の区分	2019 年度	2020 年度	合 計	備 考
直接経費				
人件費				研究代表者 エフォート〇%
謝金				外部有識者謝金
旅費				東京～千葉（〇回）
備品費		—		
試験研究費				
消耗品費	(     )	(     )		部品など
借料及び損料	(     )	(     )		会場借料、バス借上げなど
賃金	(     )	(     )		実証補助
雑役務費	(     )	(     )		システム改良・保守など
その他	(     )	(     )		
消費税相当額				
一般管理費 (または間接的経費)				
合計				

(注) (2) 経費の区分・年度別経費の内訳に準拠して機関ごとに記載。

#### (4) 備品費の内訳

(単位：千円)

備品の名称 (メーカー・規格等)	数量 (単位)	単価	合計	使用目的
自動運転トラクター (株)〇〇農機・A-123)	1 (台)	8,000	8,000	耕起・整地、運行状況のデータ取得等
ドローン (株)〇〇・B-456)	2 (台)	2,500	5,000	稲の生育状況のセンシング、農薬散布等
合計	—	**、***	**、***	

(注1) 各年別研究費総額内訳の「備品費」の内訳を記載してください。併せて、備品の部品代等の金額の根拠となる積算の詳細を記載してください。

(注2) 本事業の試験研究計画で使用するため、原形のまま比較的長期の反復使用に耐え得るもののうち、取得価格が10万円以上の物品とします。ただし、リース等で経費を抑えられる場合は、経済性の観点から可能な限りリース等で対応してください。その際、ファイナンスリースの場合は、リース期間を耐用年数と同期間とし、研究期間を超えるリース期間については、自費での契約としてください。本来ならば、機械・備品のリース物品は借料・損料で計上しますが、ここでは備品費の内訳としてリース物品等と分かるように記載してください。複数取得する場合は、購入数量(単位)が複数必要な理由も記載してください。

(注3) 備品費は、原則、初年度(2019年度)に計上してください。また、計上していない備品の購入は、原則、認められません。

(注4) 汎用性の高い備品(パソコン、フリーザー等)は、原則、計上できません。

(注5) 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

## 6. 参画機関の概要

各機関の研究代表者名、住所等（実際に研究を実施する支所等ごとに作成）

研究 代 表 機 関	機関名				
	所在地住所				
	研究代表者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	研究実施責任者 【研究リーダー】	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	経理統括責任者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	経理責任者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
e-mail			エフォート	(%)	
業務概要					
財務状況	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
	当期純利益（千円）				
	資本金（千円）				
	純資産（千円）				

共 同 研 究 機 関	機関名				
	所在地住所				
	研究実施責任者 【進行管理役】	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
e-mail		エフォート	(%)		
経理責任者	ふりがな 氏名		役職名		

		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	業務概要				
	財務状況	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
		当期純利益 (千円)			
		資本金 (千円)			
純資産 (千円)					

農場 経営 体	組織名				
	所在地住所				
	代表者	ふりがな 氏名		役職名	
	生産管理責任者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	経理責任者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	財務状況	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
		当期純利益 (千円)			
		資本金 (千円)			
		純資産 (千円)			

研 究 管 理 運 営 機 関	機関名				
	所在地住所				
	実施責任者	ふりがな 氏名		役職名	
		所属			
		TEL		FAX	
		e-mail		エフォート	(%)
	経理責任者	ふりがな 氏名		役職名	
所属					

	TEL		FAX	
	e-mail		エフォート	(%)
業務概要				
財務状況	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
	当期純利益 (千円)			
	資本金 (千円)			
	純資産 (千円)			

(注1) 研究リーダー及び進行管理役となる者がわかるよう記載してください。

(注2) 研究代表者と経理統括責任者、研究実施責任者と経理責任者（なお、生産者、普及担当機関及び研究管理運営機関については実施責任者と経理責任者）、経理統括責任者と研究実施責任者は、それぞれ別の者である必要があります。

(注3) 電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスは半角文字で記載してください。

(注4) 共同研究機関、普及担当機関等が複数ある場合は、様式を追加してください。

(注5) 財務状況は、直近3年度の財務諸表から該当する金額を記入してください。

地方公共団体、国立大学法人、独立行政法人、個人の農林漁業者、国立研究開発法人等に係る財務状況の記入は不要です。

(注6) 協力機関など、研究費の配分を行わない場合には、経理責任者及び財務状況の記入は不要です。

(注7) 研究管理運営機関の項目は、該当する場合のみ記載してください。

## 7. 同意事項の確認

提案する研究計画が採択された場合、以下の項目について同意します。

(同意する項目についてチェックを入れてください。)

- 研究計画の調整・実施に当たり、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」という。）の指導・助言に対し、速やかに対応を行うこと。
- スマート実証農場における営農管理や経営に関するデータについて、農研機構に提供すること。
- 進行管理役は、本実証プロジェクトに十分専念できる者となっていること。
- 他地域からの見学や研修等には、研究に支障のない範囲で積極的に協力すること。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

研究代表者

印

担当者の連絡先	
担当者氏名	
所属部署	
役職	
電話番号・FAX	
E-mail	

(様式2) 参画機関の特許権等への取組状況

原則A 4用紙1枚以内・必須

研究計画名			
研究代表機関名		研究代表者名	
研究管理 運営機関名		研究管理運営機 関の責任者名	

(1) 当該研究計画についての、成果の活用に係る方針、指針等の有無

(2) 各参画機関における職務発明規程の他、特許権等の管理指針、ポリシー、規程等の有無

(3) 研究グループにおける特許権等管理指針、ポリシー、規程等の有無

(4) 各参画機関における特許権等の担当部署や担当者、特許権等に関する問合せ窓口の配置(設置)の有無

(様式3) 法令・指針等に関する対応について

A4用紙1枚以内・必須

研究計画名			
研究代表機関名		研究代表者名	
研究管理 運営機関名		研究管理運営機 関の責任者名	

研究内容に照らし、遵守しなければならない法令・指針等（該当するものを「■」としてください。）

農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針

その他（法令・指針等名： \_\_\_\_\_ ）

該当なし

(様式4) 経理事務体制について

A4用紙2枚以内・必須

研究計画名			
研究代表機関名		研究代表者名	
研究管理 運営機関名		研究管理運営機 関の責任者名	

1. 区分経理処理が行える会計の仕組みについて

(1) 現在、区分経理処理が行える会計の仕組みが整備できていますか。

※どちらかに○を付してください。

- ・ 現在整備できている
- ・ 現在整備できていない

(2) その内容

2. 経理執行体制について

(1) 現在の経理体制・職務内容

(2) 内部牽制について

(様式5) 研究管理運営機関を活用する理由書

A4用紙1枚以内・該当試験研究計画のみ

研究計画名			
研究代表機関名		研究代表者名	
研究管理 運営機関名		研究管理運営機 関の責任者名	

(理由)